



町田通信

秋のご挨拶

「見通し難い10年先を」

for Executives



先ごろ「企業の配当総額20兆円」の見出しが紙面を飾り、単純計算で家計に3.5兆円入るとも報じられました。

(日経新聞,2025年7月11日)

記事を目にして「3.5兆円は国民1人当たり3万円弱、先の参院選で話題になった現金給付の2万円より多い」と思った方も少なくなかったようです。

もちろん配当金は企業業績に左右されるため予め確約されていたわけではありません。それでも長い目で蓄えの一部を優良企業の株式(リスク資産)に振り向けていた方のなかには3.5兆円の一部を手にした方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



「潤う企業は」

この報道に先立つこと7月6日には「潤う企業 10年先に照準」の見出しが日経新聞1面に踊りました。曰く、数年単位の中期経営計画より「10年以上の長期目線で経営に取り組む企業の方が、利益の伸び率が大きい」ということです。

紙面には、中短期の目線では目先の成果を優先するあまり将来の成長を犠牲にしがちである一方、より長期の目線で将来を見据える企業は「社会課題解決と利益確保の両立」や「新規事業の種まきや長期的投資、不採

算事業からの撤退など最適な事業ポートフォリオ」において長けているとする識者の指摘が紹介されています。

相互関税で世の中が揺れ動かなか成し遂げられたと大々的に報じられた日本の鉄鋼メーカーによる米国鉄鋼メーカーの巨額買収などは長期目線に基づく経営判断の一例といえそうです。

「ライフプランも」

来年の家族旅行や連休の計画、期末試験対策、家電製品の買い替え、今期の売上計画、製造計画などは差し迫っている、または成果や結果が比較的すぐに見えるため取り組みやすいものです。ただし、こうした目の前の目標は決して容易なものばかりではないうえ、一度解決しても数か月～数年毎に繰り返してやってくるのがもうひとつの現実です。

こうした目の前の問題に対処するなかで、マイホームや難関試験・資格、独立起業、老後の備え、研究開発や新規事業の立ち上げといった長期の目標に立ち向かうのは生易しいことではありません。長期の目標は、中短期の目標に比べて不確実(成り行き次第でどうなるか分からない)でリスク(それに貴重な時間や労力を投じて失敗したらもったいない、さらに目先の目標まで疎かになってしまったら大損)が高いため、後回しになったり遅々として対策が進まなかったりしてしまいがちです。

長期目標をお金の面からどうサポートできるかを考えるのは金融に携わる者の使命のひとつです。お金だけですべてを解決できるわけではありませんが、資金計画や万一の場合の資金手当(お金の心配の軽減)があれば、その分だけ憂いなく長期目標に取り組んでいただくことだってできるはずです。

よろしければ長期目標についてご一緒に考えてみませんか。

ソニー生命保険株式会社 新宿ライフプランナーセンターエグゼクティブ支社

エグゼクティブ ライフプランナー 町田 信行

住所変更などはありませんか。近況の変化やご要望、ご質問などございましたら私(裏面)までご連絡ください。
また、私がお役に立てそうな方がいらっしゃいましたらぜひご紹介賜りますようよろしくお願いいたします。

「気になる数字」～ 平均所得金額それぞれ～

米国の平均年収が1千万円などと聞くと日本との格差に驚きますね。しかし、これは為替や平均的な家族構成の違いなどがあり単純に比べることはできないようです。

一方、日本の平均年収も政府から発表されていますが、暮らし方の異なる多様な世帯の平均ですから、金額を聞いてもピンとこないという方が少なくありません。

そこで厚生省の統計資料(2024年)をもとにすこし変わった切り口で平均所得金額を見てみたいと思います。

表1は所得金額をグルーピングして各グループに属する世帯数の比率を見たものです。所得金額は「1世帯当たり」なのでご夫婦共働きの場合はその合計金額です。

表1「所得金額階級別世帯数の相対度数分布」

100～500万円	51.8%
500～1,000万円	29.2%
1,000～1,500万円	8.3%
1,500～2,000万円	2.6%
2,000万円以上	1.4%

1世帯当たりの平均所得金額は536万円(全世帯)ですが、世帯にはお子さまのいる世帯やご高齢者の世帯もございます。そこで世帯のタイプ別に平均所得金額を見てみると次のようになります。(高齢者世帯:65歳以上の者のみで構成するか又はこれに18歳未満の未婚の者が加わった世帯)

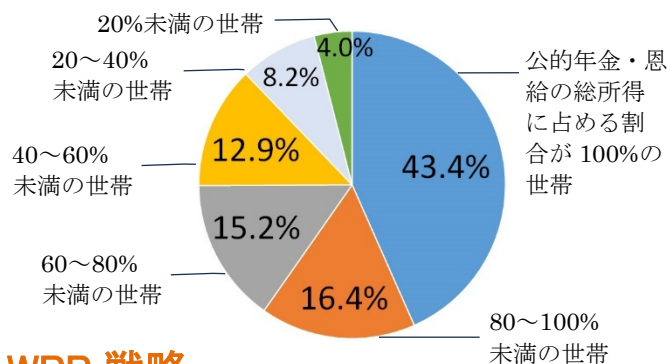
表2「各種世帯の1世帯当たり平均所得金額」

世帯のタイプ	平均所得金額
高齢者世帯平均	314.8万円
高齢者世帯以外の世帯	666.7万円
児童のいる世帯	820.5万円

続いて人生百年時代で気になる高齢者世帯に焦点を当ててみます。次の図は「公的年金・恩給を受給している高齢者世帯における公的年金・恩給の総所得に占める割合別世帯数の構成割合」を表したものです。

高齢者世帯の多くが程度の差こそあれ「公的年金・恩給」以外の収入に頼っていることが分かります。この傾向は今後高まることが予想されています。

表3「公的年金・恩給を受給している高齢者世帯における公的年金・恩給の総所得に占める割合別世帯数の構成割合」



WPP 戦略

こうしたことから近年はWPP戦略(または理論)が注目されています。これはWork longer(長く働く)、Private pensions(私的年金)、Public pensions(公的年金)の頭文字です。できる限り長く働く、私的年金の活用、公的年金(受給開始年齢を繰り上げ、受給額を調整)の活用を組み合わせる自分にあつた老後の生活資金プランを練るための考え方です。老後についてご不安な方はぜひご相談ください。

(出典)厚生労働省「2024(令和6)年 国民生活基礎調査の概況」

こんな時はご連絡ください

適切なサービスや情報を提供し、皆さまをお守りするために、次のようなときは私にご連絡ください。

- 各種手続きや保障内容の見直しなどの相談や問い合わせ
 - 契約内容・保障内容の確認・見直し
 - 老後資金や相続に関する相談
 - 医療費や介護費用の心配
 - 保険金や給付金の請求について
 - 入退院や手術の予定
 - 災害や事故などに遭遇されたとき

- 身近な方のご結婚・ご出産・入進学
- 転居・転職・起業の予定
- 事業拡大や事業承継の計画(法人様)
- 福利厚生制度・役員の保障の相談(法人様)
- 紹介して欲しい人・提供して欲しい情報がある

●その他

疑問や不安に感じていること、近況なども気軽にお聞かせいただければ幸いです。また、私がお役に立てそうな方がいらっしゃいましたらぜひご紹介ください。

(差出人・連絡先)

ソニー生命保険株式会社

新宿ライフプランナーセンターエグゼクティブ支社

エグゼクティブ ライフプランナー

町田 信行

掲載内容等に関するお問い合わせは私まで。

〒151-0053

渋谷区代々木 2-1-5

JR 南新宿ビル 18F

TEL: 03-5358-1700 FAX: 03-5358-1850

携帯: 090-3681-3416

メール: NOBUYUKI_MACHIDA@sonylife.co.jp

